

森の風からの便り



社会福祉法人 ゆめみの里 児童養護施設 森の風学園

【TEL☎】 0247-57-3788 【FAX☎】 0247-57-6169

2021年3月1日発行

第5号



園長あいさつ



心を育むこと

今年、東日本大震災から10年目となり、各報道機関では、当時を振り返る番組や被災された方々の復興の様子を報じておりました。その復旧・復興には、たくさんの方々の支援の手があり、その奉仕は想像を絶します。何かをしようという行動はまず心が動くことから始まります。心を表現する言葉はたくさんありますが、それだけ人間の心は繊細で影響力があるという事です。人間の育ちにとって乳幼児期は特に大切だという事は知られているところだと思いますが、その意志の力を支えるのが乳幼児期の大人の関わりです。寝がえりからハイハイ・一人で立てるなど、成人するまで大人からの励ましや喜び等を積み重ね、大人の姿を模倣していく中で意志を育み、何かを乗り越えようとする力になるのです。児童養護施設に入所してくる子どもたちは、この乳幼児期に大人から受ける、愛をベースとした経験が不足していたと考えられ、目の前に現れた課題や問題を克服する力を出しにくいのです。できる自分を信じるのが難しいのです。今年度は高校を卒業した3名が卒園し、それぞれ進学・就職へ向けてひとり立ちしました。森の風学園で過ごした子どもたちが、自分を信じて生きていけるよう、入所中はもちろんのこと退園・卒園してからも、大人の温かいまなざしで支え心を育んでいきたいと思ひます。

森の風学園 園長 熊田富美子

《社会福祉法人 ゆめみの里ホームページ》

<http://yumemi.or.jp/>

ぜひ、アクセスしてみてくださいね(*'▽')♪



スマホのカメラで
スキャンしてみてもOK! 📱



防災訓練



1/10に非常食を用いた防災訓練を行いました。

万が一、建物が使えなくなった際には外で過ごす可能性があるという事を想定し訓練をしました。

薪で火をおこし豚汁を作ったり、非常食に興味津々だったり、色々な体験をした一日でした！

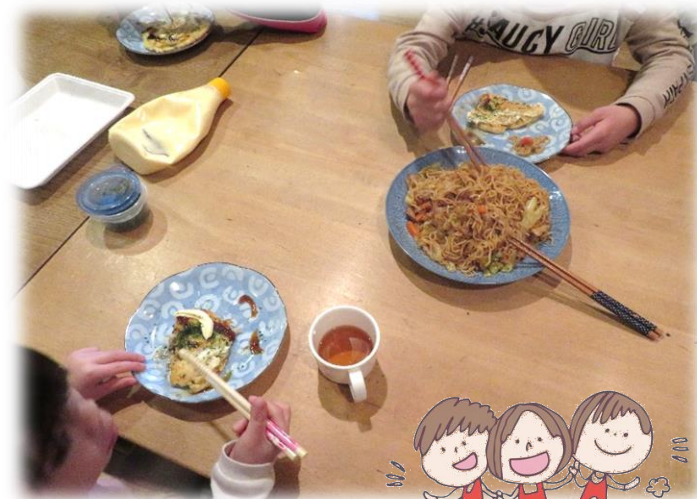


防災訓練とはいえ、外でみんなで作ったご飯は美味しかったです！

森風の日常



1/31 朝8:00
積もった雪に児童は大喜び！
早速そりを持ち出しすいす〜いとそり滑りをして遊んでいました。



2/11の昼食は鉄板焼きメニューという事でお好み焼きと焼きそばを作って食べました！お好み焼きは、チーズを入れたりハート型に焼かれていたり、各棟でアレンジされていた♪

風太通信



シャクシャクシャク・・・。

毎日、お散歩前に調理員さんからキャベツの芯をもらって食べるのが僕の日課だわん。
この噛み応えがたまらないんだよなあ〜。

とある職員からの小話

四辻の春

三月は二十四節気で言う所の「啓蟄」です。「冬眠している虫たちが、動き始める頃」という意味でつかわれています。四辻地区は田畑、林業、畜農家と古き良き時代の風景を保っている所です。子牛が生まれ、親牛と日向ぼっこしている姿は心が和みます。子ども達も牛さんを見に行くのが好きです。この冬はとても寒かったので10cm程の霜柱が立ちました。それらが解けたり凍ったりしながら、森の植物が芽吹く準備をしています。子ども達は、手に摘んできたフキノトウを持ってきて嬉しそうに見せてくれます。

何気ない日常に季節を感じ、たくさんの春の息吹を感じている子ども達。子ども達の心にも暖かな陽がさして、心の氷を溶かし芽吹く準備が出来ていくといいなと思います。少しでもその手助けとなるようこれからも励んでいきたいですね。



【あしがき】

少しずつ気温が上がってきて、春の足音が聞こえてきました。子ども達はふきのとうを収穫して、天ぷらにしたり「ふき味噌」を作って食べたりしています。ふきのとうは独特な苦みがあるのにすごいなあと思う私でした・・・(;^w^)

《広報担当 こばさん》